

令和元年12月8日 日曜 19:00～

於 構公民館

構屋台新調委員会 制作部会

鋳金具、刺繍、太鼓、木彫刻の各部会で検討をしてきた屋台のデザインが製作部会で提案され、承認を得ました。図面やデザイン画など具体的な資料を前にして、それぞれが完成図を頭に描きながら検討しました。

後日開催予定の新調委員会にて最終の決定となりそうです。

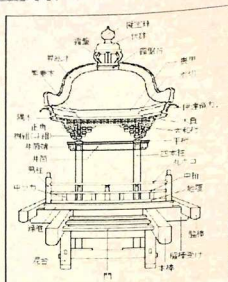




令和式年度 製作事項確認会議

① 初年度（新調白木屋台時）職人（匠）の紹介

大工 塩見 修一氏 [塩見建築]
 縫師 川村 定弘氏 [川村刺繍]
 鍔金具師 北角 和久氏 [かざり金具きたかど]
 彫師 山下 徹浩氏 [山下木彫工房]
 太鼓師 真田 和典氏 [真田太鼓店]
 塗師 砂川 隆氏 [砂川塗工業]



② 安全祈願祭 報告

令和元年11月10日 10時より
 津田天満神社 拝殿 於

参列者

職人 塩見氏、川村氏、北角氏、山下氏、真田氏、砂川氏
 構自治会・役員、構農区・役員
 構祭典委員会・取締、構青年会・三役
 屋台新調委員・幹事、相談役、顧問、各制作部正副部長



③ 初年度白木屋台時 屋台仕様（案）

- ・サイズ : 柱芯 3尺
- ・擬宝珠 : 従来型
- ・露盤 : ネコ脚 仮露盤
- ・屋根等 : 塩見氏より概要説明
- ・総才端 : 側面透かし彫り 羽根物 飛龍（応龍）
鏡面 上部に梅鉢紋、透かし彫りに「宮元村」
- ・紋 : 従来型の梅鉢紋
- ・隅木端 : 唐草透かし彫り（金具）
- ・隅木 : 唐草模様（木彫）
- ・幣額 : 文字「天満宮」
- ・天井絵 : 八雲図
- ・正角 : [上部] 麒麟、[下部] 鳳凰



八雲図イメージ



彫り部：山下木彫工房・山下 徹浩氏より

- ・井筒端 : [正面] 右・左三つ巴紋 大年神神紋
左・二葉葵紋 賀茂別雷神神紋
[側面] 右・猿田彦大神面、左・天鈿女神面
[下面] 右・金鳥、左・玉兔

【図柄イメージ】



- ・水引幕 : 追い龍

●参考図柄



- ・乗り子襦袢 : 四方同柄 「若」文字、梅木花、葵
- ・乗り子頭巾 : 白地、金文字「構」 旧屋台同等
- ・高欄擬宝珠 : 従来型
- ・伊達綱 : 従来型の茶金 直径21cm
- ・高欄掛 : 下駄：川村刺繍・川村 定弘氏より 令和元年11月

●「若」文字のイメージ書体

●依藤太 大百足退治



●安倍泰成 九尾の狐退治



●平惟茂 鬼女退治



●宮本無三四 山蛟魚を殺す



- ・脇棒受け : 梅・梅枝
- ・棒端環 : 菊紋
- ・太鼓 : 2尺8寸



まだまだ、たくさんの案を練っている段階で仕様の変更がありそうです。

新調委員会にて承認、決定後に少しずつ細かい仕様をご紹介します。